



子供たちに伝えたい美しい日本語

石井式 育み文庫

絵／山口まさよし

桃太郎



昔、ある所に

お爺さんとお婆さんが住んでいました。

お爺さんは毎日、山へ柴刈りに、

お婆さんは、川へ洗濯に行きました。

ある日のこと、

お婆さんが川で洗濯をしていると、

川上から大きな桃が一つ

ドンブラコ、ドンブラコ、

と流れてきました。

「おお、何と見事な桃なこと。」

さっそくお婆さんは、家に持ち帰る

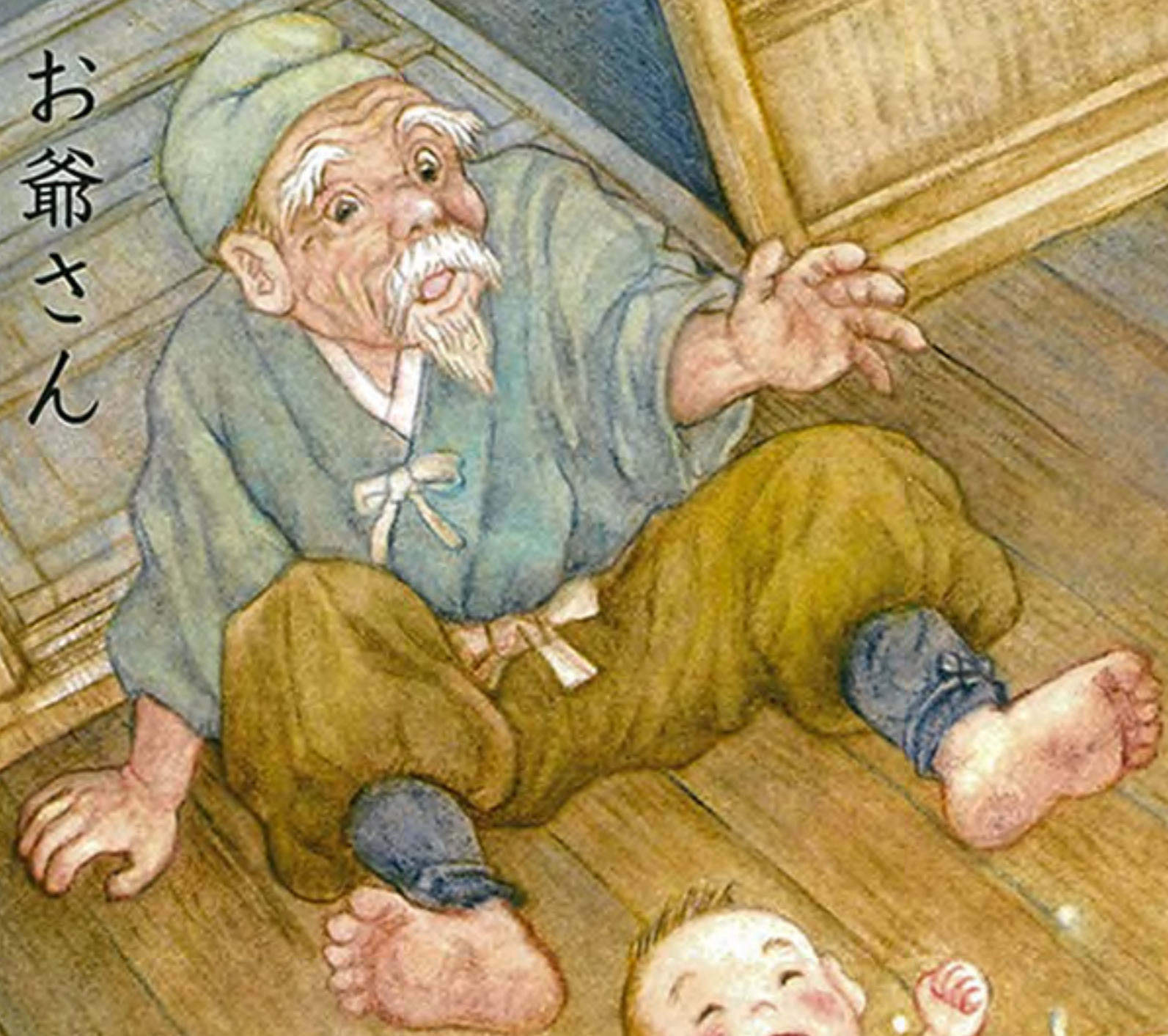
ことにしました。

桃

洗濯
柴刈り

お婆さん

お爺さん



お婆さんが、お爺さんと
桃を食べようとすると、
ぼん、と桃が割れて、
元気な男の子が出てきました。
お爺さんとお婆さんは、大喜び。
その子に桃太郎と名前を付け、
それは、それは、
大切に育てました。

